

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 1 月 30 日 (2020.1.30)

【公表番号】特表 2019-502454 (P2019-502454A)

【公表日】平成 31 年 1 月 31 日 (2019.1.31)

【年通号数】公開・登録公報 2019-004

【出願番号】特願 2018-531668 (P2018-531668)

【国際特許分類】

A 6 1 C 5/77 (2017.01)

A 6 1 C 5/80 (2017.01)

【F I】

A 6 1 C 5/77

A 6 1 C 5/80

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 12 月 13 日 (2019.12.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

患者の口腔内で歯科修復物を形成するためのカスタム器具であって、

前記患者の少なくとも 1 本の歯牙とのカスタマイズされた嵌め合いを提供する第 1 のモールドボディであって、前記歯牙の少なくとも第 1 表面と対応する部分と、前記歯牙の隣接歯間表面と対応する隣接歯間部分と、を含み、

前記患者の前記歯牙と組み合わせることで、前記歯牙の欠損歯牙構造の一部分を覆い囲むモールドキャビティを形成するように構成されている、

第 1 のモールドボディを備える、

カスタム器具。

【請求項 2】

前記隣接歯間部は、前記修復物を受け入れる前記歯牙と、隣接する歯牙との間の歯間腔全体にわたって延びている、請求項 1 に記載のカスタム器具。

【請求項 3】

前記患者の前記少なくとも 1 本の歯牙とのカスタマイズされた嵌め合いを提供する第 2 のモールドボディであって、前記歯牙の第 2 表面と対応する部分を含み、

前記第 1 のモールドボディ及び前記患者の前記歯牙を組み合わせることで、前記歯牙の欠損歯牙構造の前記一部分を覆い囲む前記モールドキャビティを形成するように構成されている、

第 2 のモールドボディを更に備える、

請求項 1 に記載のカスタム器具。

【請求項 4】

ポート及びプラグを更に含み、前記プラグは、前記歯牙の表面に対応する先端面を含み、歯科修復材料は、前記ポートを通じて前記モールドキャビティに注入されてもよい、請求項 1 に記載のカスタム器具。

【請求項 5】

前記モールドキャビティは、修復前に、前記歯牙の外部表面に対応する内部表面を形成する、請求項 1 に記載のカスタム器具。

【請求項 6】

前記第 2 のモールドボディの一部分は、前記第 1 のモールドボディの一部分と重なっており、前記第 1 のモールドボディ及び前記第 2 のモールドボディはそれぞれ、前記欠損歯牙構造の第 1 部分を覆い囲む、請求項 1 に記載のカスタム器具。

【請求項 7】

第 1 の部分的歯科修復物を形成するための、前記モールドキャビティ内の歯科修復材料と、

第 2 の部分的歯科修復物を形成するための、前記モールドキャビティ内の更なる歯科修復材料と、

を更に含み、

前記第 1 の部分的歯科修復物と前記第 2 の部分的歯科修復物との間のモールド線は、前記修復物を受け入れる前記少なくとも 1 本の歯牙と隣接する歯牙との間の歯間腔の外部にある、

請求項 1 に記載のカスタム器具。

【請求項 8】

前記歯科修復物は、前記少なくとも 1 本の歯牙に歯科ベニア修復物を提供する、請求項 1 に記載のカスタム器具。__

【請求項 9】

前記モールドは、前記患者の前記口腔の 3 次元スキャンデータに基づき形成される、請求項 1 に記載のカスタム器具。__

【請求項 10】

患者の口腔内で歯牙の歯科修復物を形成するためのカスタム器具を入手する方法であって、

患者の口腔の 3 次元スキャンデータを入手することと、

遠隔製造施設に前記 3 次元スキャンデータの少なくとも一部を送信することと、

前記患者の前記口腔の前記 3 次元スキャンデータに基づき前記歯牙の前記歯科修復物を形成するためのカスタム器具を前記遠隔製造施設から受け取ることと、

を含み、

前記カスタム器具は、前記患者の少なくとも 1 本の歯牙とのカスタマイズされた嵌め合いを提供する第 1 のモールドボディを含み、前記第 1 のモールドボディは、前記歯牙の隣接歯間表面と対応する隣接歯間部を含む、

方法。__